

2021年度 上半期経営状況

茨城県信用農業協同組合連合会の2021年度上半期(2021年4月1日から2021年9月30日)における経営状況(単体)について、ご案内いたします。

業 績

1. 主要勘定の状況(期末残高)
2. 損益の状況
3. 単体自己資本比率の状況
4. 不良債権の状況
5. 有価証券等時価情報

社会的責任と地域貢献活動

1. 地域からの資金調達の状況
2. 地域への資金供給の状況
3. JAバンク自己改革にかかる県域取組み状況
4. 文化的・社会的貢献活動



JAバンク茨城県信連

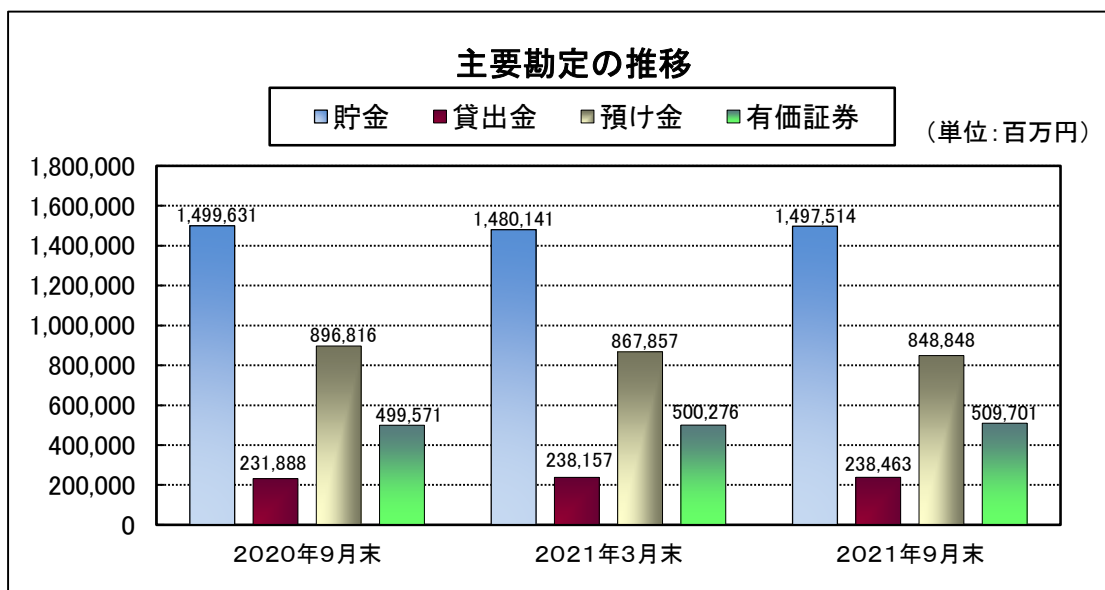
Ibaraki Prefectural Credit Federations of Agricultural Cooperatives.

業 績

1. 主要勘定の状況(期末残高)

(単位:百万円)

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
貯 金	1,499,631	1,480,141	1,497,514
貸 出 金	231,888	238,157	238,463
預 け 金	896,816	867,857	848,848
有 価 証 券	499,571	500,276	509,701



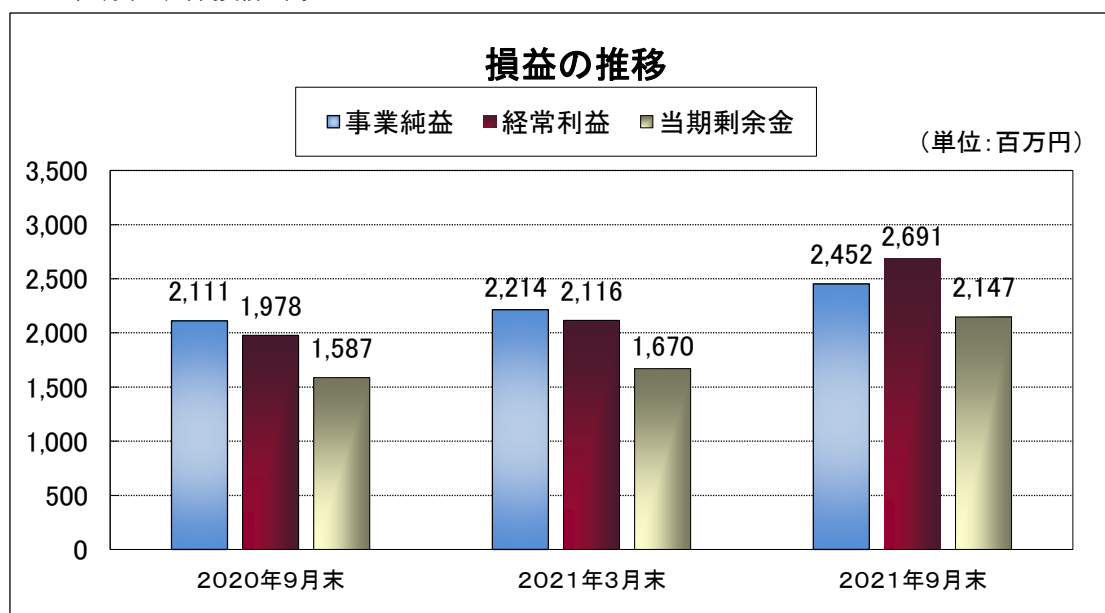
2. 損益の状況

(単位:百万円)

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
事 業 純 益	2,111	2,214	2,452
経 常 利 益	1,978	2,116	2,691
当 期 剩 余 金	1,587	1,670	2,147

(注) 2020年9月末および2021年9月末は、半期実績です。

2021年3月末は、年間実績です。

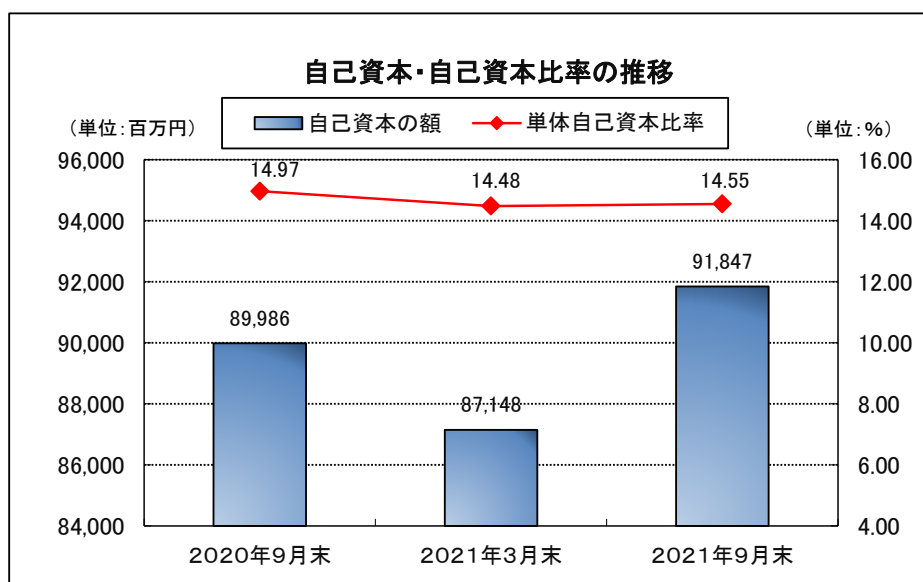


3. 単体自己資本比率の状況

(単位:百万円, %)

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
自己資本の額	89,986	87,148	91,847
リスク・アセット等	600,908	601,575	631,229
自己資本比率	14.97%	14.48%	14.55%

(注)「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年3月28日付金融庁・農林水産省告示第2号(最終改正:令和2年3月31日付金融庁・農林水産省告示第2号))に基づき算出しています。

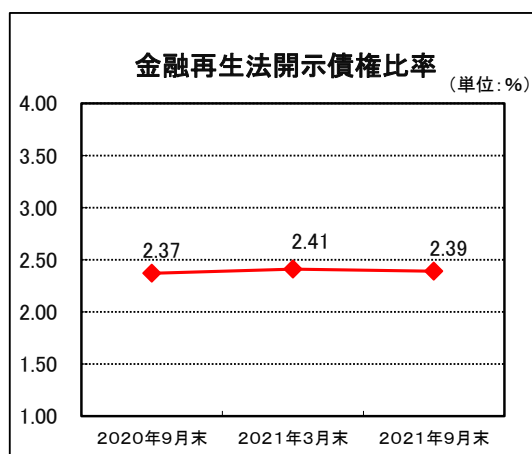


4. 不良債権の状況

□金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
債権総額 A	233,327	239,556	239,806
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	284	284	283
危険債権	5,229	5,486	5,444
要管理債権	9	8	7
金融再生法開示債権総額 B	5,523	5,779	5,735
正常債権	227,803	233,777	234,071
担保保証等回収可能額 C	2,058	2,057	1,986
貸倒引当金 D	3,459	3,717	3,744
金融再生法開示債権比率 B/A	2.37%	2.41%	2.39%
保全率 (C+D)/B	99.90%	99.92%	99.94%



(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態および経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。なお、当会は同法の対象とはなっていませんが、参考として同法の定める基準に従い債権額を掲載しています。

1. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていませんが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

3か月以上延滞債権で上記1および2に該当しないものおよび貸出条件緩和債権をいいます。

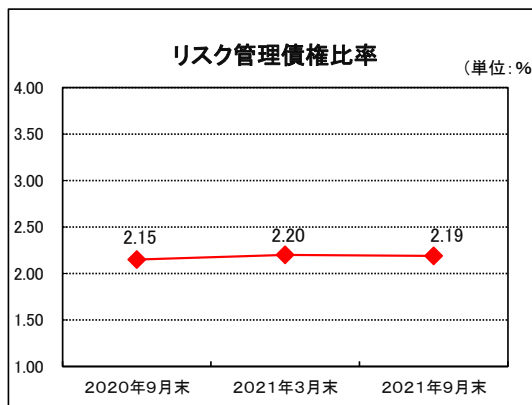
4. 正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

□リスク管理債権残高

(単位:百万円)

	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
貸出金 A	231,890	238,157	238,465
破綻先債権	-	-	-
延滞債権	4,973	5,229	5,222
3か月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	9	8	7
リスク管理債権総額 B	4,982	5,238	5,229
担保保証等回収可能額 C	1,915	1,913	1,857
貸倒引当金 D	3,061	3,319	3,368
貸出金に占めるリスク管理債権比率 B/A	2.15%	2.20%	2.19%
保全率 (C+D)/B	99.89%	99.91%	99.93%



(注) 1. 破綻先債権

元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

2. 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

3. 3か月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものをいいます。

4. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

5. 有価証券等時価情報

□有価証券

(単位:百万円)

保有区分	2020年9月末			2021年3月末			2021年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
売買目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	479,458	499,571	20,113	480,822	500,276	19,453	489,126	509,701	20,575
合計	479,458	499,571	20,113	480,822	500,276	19,453	489,126	509,701	20,575

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

2. その他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

□金銭の信託

(単位:百万円)

保有区分	2020年9月末			2021年3月末			2021年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	6,000	5,914	▲ 85	5,864	5,864	-	6,000	6,023	23
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	13,000	12,883	▲ 116	13,000	13,714	714	30,000	31,549	1,549
合計	19,000	18,797	▲ 202	18,864	19,579	714	36,000	37,572	1,572

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

2. その他金銭の信託の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

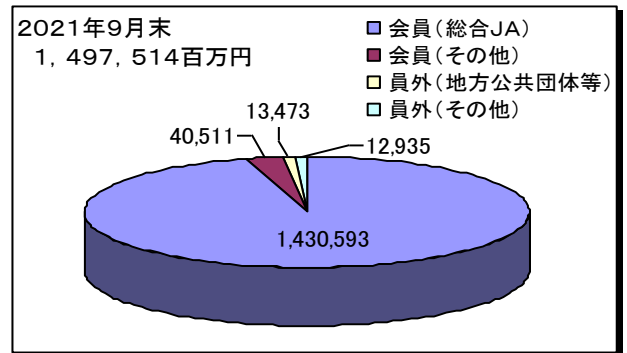
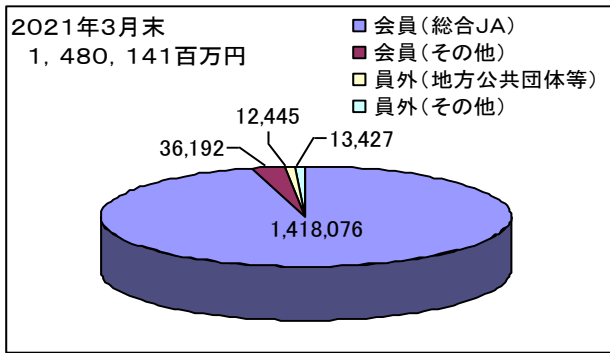
社会的責任と地域貢献活動

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた組合員および利用者みなさまの大切な財産である貯金です。お預かりした大切な貯金は、資金を必要とする組合員および利用者みなさまや、JA・農業に関連する企業および地方公共団体などにご提供することによって、地域社会・地域経済の発展に貢献しています。

また、当会は文化、教育、環境に対する貢献活動を通じて、豊かな地域社会の実現に向けた取組みを行っています。

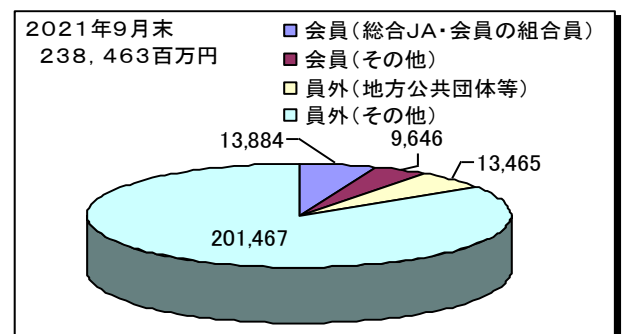
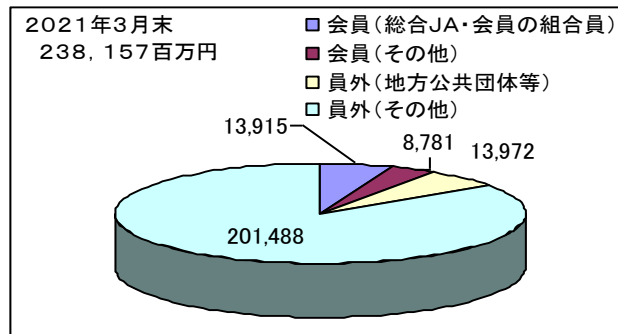
1. 地域からの資金調達の状況

□ 貯金残高



2. 地域への資金供給の状況

□ 貸出金残高



□ 主な農業資金の取扱状況 (2021年9月30日現在)

(単位:百万円)

資金名	当会および 県下JAの取扱残高	資金の内容
新認定農業者育成特別資金	6,322	認定農業者の農業経営に関わる一切の資金
農業経営拡大資金	5,370	農業経営に関わる一切の資金
農業近代化資金	2,482	施設・機械の取得、果樹の植栽・育成、家畜の購入・育成、長期運転資金等
JA営農口ーン	492	営農に必要な資金(運転資金)
就農施設支援資金	159	農業経営を開始する際に必要な機械、施設または資材の購入等に必要な資金
農業改良資金	110	新たな農業部門・農産物加工事業を始めるための資金

3. JAバンク自己改革にかかる県域取組み状況

□ 自己改革に対する基本的考え方

当会3か年中期経営計画では、農協法改正等により今までにない環境変化に直面していることを十分認識し、JA自己改革を踏まえた取組み内容としています。この環境を「生き残りをかけた大規模な変革実践」のときと捉え、強い姿勢をもって、目標達成に向けて取組みます。

○ 2021年度の取組み

「農業者の所得増大への貢献・信用事業を通じた組合員農業経営支援の強化」について

◇ 出向く体制の整備

2016年度から、JA全農いばらきとの連携による同行訪問等出向く体制を整備し、担い手経営体(農業法人)への直接アプローチを強化しています。

(単位:件,千円)

2021年3月末			2021年9月末		
新規アプローチ先数	新規取引件数	取引金額	新規アプローチ先数	新規取引件数	取引金額
135	3	38,300	135	1	44,000

◇ 農業者支援事業(当会主体事業)

JA・各会と連携のもと、各種事業を実施しています。

・主な助成事業等実績

(単位:件,千円)

資金名	2021年3月末		2021年9月末		助成内容
	件数	金額	件数	金額	
農業機械導入助成事業	139	47,750	-	-	規模拡大等によりコスト低減または農作業の安全に取組む農業者等への支援を目的に農業機械導入費用を一部助成(下期実施予定)。
新認定農業者育成特別資金利子助成事業	1,017	32,187	392	12,217	農業者等が、JAから新認定農業者育成特別資金をお借入した場合の利息相当額の負担軽減を図るために利子を助成。
新認定農業者育成特別資金保証料助成事業	1,017	17,071	392	6,413	農業者等が、JAから新認定農業者育成特別資金をお借入した場合の保証料相当額の負担軽減を図るために保証料を全額助成。
農業近代化資金保証料助成事業	59	6,324	32	5,039	農業者等が、JAから農業近代化資金をお借入した場合の諸費用の負担軽減を図るために一括前払い保証料を全額助成。
農業災害資金(新型コロナウイルス)※	145	436,610	48	146,630	新型コロナウイルス感染症による直接的・間接的な被害を受けた農業者等へ経営安定に向けて必要な資金を融通。
JA交付金等つなぎ資金	71	308,920	74	434,520	水田活用の直接支払い交付金や水田イノベーション事業の直接支払い交付金までの資金繰り対応を目的としたつなぎ資金を融通。

(注)2021年3月末は年間実績、2021年9月末は半期実績です。

農業災害資金については、2021年度は「令和3年度JAバンク茨城農業災害資金」、2020年度は「系統農業災害資金」として実施しています。

・担い手コンサルティングの取組み

2021年度より農業経営にかかる課題解決への取組みとして「担い手コンサルティング」を行い、財務分析から事業改善に向けた取組の提案などを、2021年9月末現在、取引先2先について実施しています。

○ 今後の取組み

◇ JAグループ茨城農畜産物商談会について

2021年度の商談会は、JAグループ茨城として以下の商談会に参加します。

名 称	第16回JAグループ全国農畜産物商談会(JA全農・JAバンクの共同主催)
場 所	東京都立産業貿易センター浜松町館
日 程	2022年2月1日(火)～2022年2月2日(水)※オンラインでも同時開催(2月1日(火)～3月31日(木))

当会では、2021年度事業計画において、「JAの収益向上」、「安定的な還元の確保」、「業務の効率化・刷新」に基づき、自己改革に関する具体的な取組みを実施しています。

○ 新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

当会では、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けているお客さまに対し、融資等に関する相談窓口を設置しています。

店舗名	所在地	相談窓口	電話番号
本店	茨城県水戸市梅香1-1-4	営業部	029-232-2031
		農業部	029-232-2033

受付時間:月～金曜日 午前9時～午後5時(金融機関の休業日を除く)

4. 文化的・社会的貢献活動

□ 「JAバンク食農教育応援事業」への取り組み

JAバンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子供たちの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンの拡大と地域の発展に貢献することを目的に、食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとする教材本を作成しています。

この教材本は、県内486校の小学5年生を対象に、県内各JAから41,085冊を無償配布し、社会科・理科・総合学習のなかで広く活用されています。

また、県内各JAでは、JA職員を講師とした食育授業実施の働きかけや、教師を対象とした農業体験を行う等、くらしの活動を通して子供たちの健やかな成長を支援しています。

<教材本>



<贈呈式の模様>



□ 「JAバンク茨城年金友の会情報誌、会員証」の発行

県内JA年金友の会の活動内容や、くらしに役立つ医療情報等を中心に、「JAバンク茨城年金友の会情報誌」を当会にて年1回(11月)発行するとともに、県内JAの年金友の会の会員数約10万6千人の方を対象に「JA年金友の会会員証」を発行しています。

この会員証は、県内の各JAに年金の振込指定された会員の方を対象に発行しており、会員証をご提示いただくと割引等の各種サービスが受けられる仕組みとなっています。

特典協力店舗は181店舗(2021年11月末)であり、JAバンク茨城では、特典協力店舗数の増加に努めています。

<情報誌第25号>



<会員証>



□ 利用者ネットワーク化への取り組み

○ JAバンク茨城公式 Instagram への投稿

JAバンク茨城公式 Instagram を2019年12月より開設し、JAマイカーローン、教育ローン等の各種おすすめ商品や各種キャンペーンのご案内、またJAバンク茨城で開催した行事について定期的に投稿しています。

2021年度上期は、JA直売所「メロン」の紹介や「JAカード」のPRなど、様々な取り組みについて投稿しました。

今後は、より投稿頻度を高めることで、さらなるJAバンク茨城の周知に力を入れていきたいと考えています。

<アカウント画像>



<JAバンク茨城アカウント>



<Instagram への投稿内容>



□ ボランティア活動への取組み

当会では、地域に支えられて事業展開ができることを再確認し、地域社会に還元・貢献していくことを目的として「JAバンク茨城県信連ボランティアサークル」を運営しています。

当サークルは、全役職員参加型事業として2018年度より活動しており、以下の活動等を通じて地域活動に積極的に参加しています。

なお、当会は地球環境に配慮した取組みを積極的に行う事業所として、茨城県に登録する「茨城県エコ事業所登録制度」に申請し、2008年11月10日に「AAA」の登録認定を受けています。

○ 子ども支援プロジェクトへの取組み

フードバンク茨城が主催する本プロジェクトの趣旨に賛同し、食に困るお子様のいる世帯やコロナ禍により食事に困窮する学生を支援するため、当会役職員の家庭にある消費しきれない食材を事務所に設置する「きずなBOX(収集箱)」に持ち寄り、2021年7月上旬にフードバンク茨城各支部(水戸・牛久)へ提供しました。提供した食品は、夏休み前に必要なご家庭・施設へ届けられ、給食のない期間の子どもたちから喜ばれました。

<子ども支援プロジェクトの様相>



○ 県内児童養護施設への物資提供の取組み

県内児童養護施設運営に協力する取組みとして、7月上旬に当会役職員から持ち寄った生活・学習用品等を、8月上旬に水戸市内の児童養護施設に寄贈しました。

<県内児童養護施設への物資提供の様相>





2021年度 上半期経営状況

2021年12月掲載

茨城県信用農業協同組合連合会 総務企画部

〒310-0022 茨城県水戸市梅香1-1-4

TEL029-232-2017